

委員会事業方針・事業計画

総務合同委員会

担当副理事長 小野 顕 成

基本方針

五所川原青年会議所は「明るい豊かな社会」の実現に向けて長年にわたり地域に運動を展開して参りました。今日まで組織体制が維持されてきたのは、先輩諸兄により社会の変化に対応した組織運営がなされてきたからです。これからも地域から信頼を得られる運動を展開していくためには、地域を担う一団体としての責務を果たしながら社会の変化に対応する組織づくりが必要です。よって、柔軟かつ盤石な組織運営の遂行と会員の資質向上による組織力の向上が求められます。

その為には、総務合同委員会では組織運営の基盤となる「総会」及び「役員選考委員会委員選挙」を企画運営するとともに、社会の変化に対応しながら各種定例会を柔軟に執り行います。そして、会員の労をねぎらい、組織を次年度につなげるために「次年度説明会及びL O M内褒賞」を執り行います。また、会員が青年会議所の組織体制について理解を深める機会を設け、会員が組織に於ける役割を全うできることで組織力の向上を目指します。

地域を担う一団体としての自覚を持ち、柔軟かつ盤石な組織運営の遂行と会員の資質向上により組織力が向上することで、これからも地域から信頼され必要とされる団体として活動し続けることができると確信し一年間邁進して参ります。

委員長 川 浪 剛 功

基本方針

五所川原青年会議所は「明るい豊かな社会」の実現に向け先輩諸兄により長年にわたり運動を展開して参りました。これからも地域から信頼を得られる運動を展開していくためには、地域に根差した運動を展開する一団体としての責任を果たし、会員が組織について理解を深めることで、社会の変化に柔軟に対応できる団体として成長しなければなりません。そのため総務合同委員会が組織運営に於いて下支えするとともに、会員の資質向上による組織力の向上が求められます。

そこで総務合同委員会では、組織運営の根幹である「総会」「選考委員会委員選挙」を定款に則り執り行います。そして、各委員会と連携を図り今年度の体制、方針を紹介し理解を深めていただく「新年祝賀会」、定例会、本年の振り返りと労をねぎらう「次年度説明会及びL O M内褒賞」を社会の変化に対応しながら柔軟に運営して参ります。また、会員が青年会議所について理解を深め、個々の資質向上が組織力につながることを学ぶことで組織力の向上を行います。

地域に根差した運動を展開する一団体としての自覚を持ち、確かな組織運営と会員の資質向上により組織力が向上することで、地域から信頼され必要とされる団体として、これからも円滑な青年会議所活動を行うことができると確信します。

事業計画並びに事業予算

総会・例会の運営

◎新年祝賀会（1月）他1

新体制でのご挨拶、当会の2021年度の活動内容と方針を来賓の方々に向けて発表し、理解を深めていただくことを目的とした事業。

・通信運搬費	55,000円	・消耗品費	2,000円
・印刷製本費	14,000円	・賃借料	100,000円
・委託費	112,000円	・雑費	1,000円

予算 284,000円

◎通常総会（2月）管理費に計上

当会の2020年度の事業報告及び、収支決算報告承認を行うことを目的とした総会。

・通信運搬費	7,000円	・消耗品費	2,000円
・印刷製本費	3,000円	・賃借料	33,000円
・委託費	3,000円	・雑費	1,000円

予算 49,000円

◎定例会（3月）他1

会員の資質向上を目的とした定例会。

・通信運搬費	6,000円	・消耗品費	2,000円
・印刷製本費	10,000円	・賃借料	4,000円
・委託費	3,000円		

予算 25,000円

◎定例会（7月）他1

役員選考委員会委員選挙

当会の2022年度の役員選考委員会委員を選出することを目的とした定例会。

・通信運搬費	6,000円	・消耗品費	2,000円
・印刷製本費	5,000円	・賃借料	4,000円
・委託費	3,000円		

予算 20,000円

◎通常総会（9月）管理費に計上

当会の2022年度の役員候補者及び組織図案の承認を行うことを目的とした総会。

・通信運搬費	7,000円	・消耗品費	2,000円
・印刷製本費	3,000円	・賃借料	33,000円
・委託費	3,000円	・雑費	1,000円

予算 49,000円

◎定例会（12月）及び褒賞の企画 他2

2021年度を振り返り2022年度を展望する事業の開催。また、2021年度の青年会議所運動に貢献・功勞したメンバー及び委員会への褒賞の企画を目的とした事業（LOM内褒賞）

・通信運搬費	5,000円	・消耗品費	5,000円
・印刷製本費	14,000円	・賃借料	40,000円
・委託費	6,000円	・雑費	75,000円

予算 145,000円

事業費合計 572,000円

地域委員会

担当副理事長 平 田 浩 介

基本方針

昨年度、新型コロナウイルスの影響で予定していた様々な事業やまつりの自粛または中止により、多くの方が落胆したと共に地域経済にも大きな打撃を受けました。しかし、どんな未曾有な出来事であろうと私たちの先人たちは不撓不屈の精神で乗り越えて参りました。今を生きる私達も、その精神を継承すると共に、この地域に住み暮らす人々と手を取り合い、更なる地域の活性化につなげ「まちの幸せと未来を見つめるまちづくり」を推し進めていく必要があります。

その為に、私たちのまちがもつ魅力や特色といった「地域力」を活かした事業を展開し、この地域に住むことへの幸せを感じてもらい更なる地域の活性化につなげて参ります。また、2012年度から行われている、「市民討議会」を開催し、このまちに住み暮らす人々が自分たちのまちの未来について討議できる場を設え、市民一人ひとりの主体性を高め前向きな社会参画意識の醸成を図り、まちの未来へつながる運動を展開して参ります。

私たちのまちがもつ「地域力」を活かす事業を展開し、この地域に住めることの幸せを感じてもらおうと共に自分たちのまちの未来を自分たちで考えることでまちの幸せと未来の希望へとつながり、延いては、当会が目指している「明るい豊かな社会」の実現につながるものと確信しております。

委員長 石 田 潤

基本方針

五所川原青年会議所は、先輩諸兄の英知と勇気と情熱によって「明るい豊かな社会」の実現へ向かい運動して参りました。しかし、昨年新型コロナウイルスの渦中において「明るい豊かな社会」の実現へ向かう為の活動の自粛を余儀なくされました。私たちは、このような状況だからこそ、まちの幸せと未来を再度見つめなおし、この地域に住み暮らす、人々と手を取り合い、更なる地域の活性化につなげなければなりません。

その為に、私たちは、まちが持つ魅力や特色を市民と共に探求し再発見することで、「地域力」を活かして未来へつなげる事業を展開し、地域の活性化を図ってまちの幸せにつながる場を創出して参ります。

また、2012年度から行っている、「市民」「行政」「当会」の協働による「市民討議会」を本年度も開催し、市民と行政が共に未来を見つめる場を提供する事で、市民一人ひとりの地域社会の健全な発展に寄与して参ります。

この地域に住み暮らす人々が、この地域に住むことで幸せを感じ、そして、共に未来のまちの幸せを考えることがまちの未来の希望へつながると信じ、強く伝播して参ります。延いては、当会の目指す「明るい豊かな社会」の実現につながると確信し、一年間、職責を果たせるよう邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎定例会（5月）公3

「地域力を活かした事業」

まちが持つ魅力や特色を市民と共に探求し、再発見する定例会

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	30,000円
・印刷製本費	20,000円	・賃借料	10,000円
・保険料	10,000円	・諸謝金	20,000円
・委託費	190,000円	・雑費	10,000円

予算 300,000円

◎定例会（10月）公3

「市民討議会」

市民と行政の未来を共に見つめる場の継続的定例会。

・支払寄付金	300,000円
--------	----------

予算 300,000円

事業費合計 600,000円

まつり委員会

担当副理事長 平 田 浩 介

基本方針

「天下泰平」「国家安泰」「五穀豊穰」「悪疫退散」の祈りを込め、地域の幸せを願い毎年開催させて頂いている「奥津軽虫と火まつり」は、地域の皆様と先輩諸兄のご支援ご協力により本年度で49回目を迎えます。昨年度は、新型コロナウイルスの影響もあり規模を縮小し、神明宮境内にて神事を執り行いましたが、これまで紡いできた伝統の燈火を絶やさぬ様、関係諸団体と連携を図り様々な問題と向き合いながら、私たちはこのまつりを傳承していかねばなりません。

その為に、未来を担う子供たちに「奥津軽虫と火まつり」の意義を学ぶ事業を行うと共に、このまつりに参画できる環境を整備して参ります。また、まつりの重要性を再認識し、関係諸団体と未来を担う子供たちと当会で地域に愛されるまつりとしてどのようなことが必要かを考える事業を展開して参ります。そして、関係諸団体と連携の下、「奥津軽虫と火まつり実行委員会」を組織し、伝統あるこのまつりを不撓不屈の精神で開催して、地域の幸せにつなげて参ります。

地域の幸せを願い開催されている「奥津軽虫と火まつり」も来年度で50回目を迎えます。半世紀、先輩諸兄から受け継がれてきたこのまつりの伝統の燈火を絶やさぬ様、次世代へ傳承されることで「地域の幸せ」と「明るい豊かな社会」の実現につながると確信して、一年間邁進して参ります。

委員長 山 口 和 徳

基本方針

「天下泰平」「国家安泰」「五穀豊穰」「悪疫退散」の祈りを込めて、毎年開催させて頂いている「奥津軽虫と火まつり」は、地域の幸せを願うまつりとして、継承と発展を繰り返し、地域の皆様と先輩方に支えられて本年度で49回目を迎えます。昨年度は、新型コロナウイルスの影響もあり規模を縮小し、五所川原神明宮にて神事を執り行いました。先人達から傳承してきたまつりの更なる発展へ向け、関係諸団体と連携を図りつつ、地域に誇れるまつりを守っていかねばなりません。

その為に、未来を担う子供たちに「奥津軽虫と火まつり」の意義を学ぶ親善大使事業を行うと共に、まつりの意義を伝播し、身近に参画できる環境を整備し、地域に親しまれるように活動して参ります。また、「奥津軽虫と火まつり」の未来を見据えて、親善大使や関係諸団体、シニアクラブと青年会議所メンバーが連携し、まつりの重要性や課題を再認識し、地域に愛されていくにはどのようなことが必要であるかを考える事業を開催して参ります。

来年度「奥津軽虫と火まつり」は、節目となる50回目を迎えます。半世紀、先輩諸兄から受け継がれてきたこのまつりの伝統の燈火を絶やさぬ様、次世代の担い手達へバトンタッチされることで「地域の幸せ」と「明るい豊かな社会」の実現につながると確信して、一年間邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎公開定例会（6月）公2

「奥津軽虫と火まつり」

公益社団法人五所川原青年会議所が主催し、地域の人々や参加者とともに「天下泰平・国家安泰・五穀豊穡・悪疫退散」の祈りを込め、地域の幸せを願う定例会。

・旅費交通費	1,000円	・通信運搬費	60,000円
・消耗什器備品費	17,000円	・消耗品費	950,000円
・修繕費	100,000円	・印刷製本費	40,000円
・水道光熱費	10,000円	・賃借料	150,000円
・保険料	250,000円	・諸謝金	315,000円
・支払負担金	40,000円	・委託費	1,870,000円
・衛生費	180,000円	・雑費	110,000円

予算 4,093,000円

◎公開定例会（11月）公2

「奥津軽虫と火まつり～未来思考～」(仮称)

地域に愛されていくにはどのようなことが必要であるかを考える事業。

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	20,000円
・印刷製本費	20,000円	・賃借料	10,000円
・委託料	80,000円	・雑費	70,000円

予算 200,000円

※その他の事業

◎奥津軽虫と火まつり親善大使事業（3～6月）公2

高校生・大学生から成る「奥津軽虫と火まつり親善大使」が活動する事業。

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	5,000円
・印刷製本費	15,000円	・賃借料	10,000円
・保険料	30,000円	・委託費	30,000円
・雑費	20,000円		

予算 120,000円

事業費合計 4,413,000円

青少年委員会

担当副理事長 對馬 央也

基本方針

大都市圏への人口流出により地方の社会減が進む日本。私たちが住み暮らすこのまちにおいても例外ではなく、解決すべき重要な課題となっています。特に進学や就職を期に郷土を離れ、そのまま定住へとつながっていることは、この地域の未来を担う人口そのものの減少を意味します。それは郷土の衰退へとつながり、当会が目指す「明るい豊かな社会」の実現が困難となります。私たちはこの地域の大人の責務として、子供たちと共にこの地域の明るい未来の実現を目指していかなければなりません。

その為にも、私たちがこれまでに培ってきた知識と経験を活かし、この地域の自然・文化・産業など様々な分野に子供たち自身が見て触れ、そして、そこで知り得たことを基に子供たちが郷土について考える機会を創出することで、学校教育の枠を超えた「郷土を愛する心」の育成につなげます。また、この地域のまつりである「五所川原立佞武多」において、親子が共に思い出を育める事業をYEGと共催し、幼少期からの「郷土を愛する心」の発現につなげます。

郷土での様々な経験は子供たちにとってかけがえのない思い出となり、知識となり、道標となります。「郷土の将来は自分達がつなぐ」。そのような「郷土を愛する心」が芽生えることがこの地域の「明るい豊かな社会」の実現へつながることと確信し、一年間職責を果たせるよう邁進して参ります。

委員長 島谷 昌孝

基本方針

東京をはじめとする大都市圏への一極集中が進む昨今。私たちが住み暮らすこの地域は、全国でもトップクラスの人口減少率となっており、これは解決すべき重要な課題であります。中でも地域の宝である子供たちが、就職や進学を機に地元を離れ、地域の担い手が減少することは大きな損失であり、郷土の衰退へとつながります。青年経済人として「明るい豊かな社会」を目指す私たちにとって、郷土の将来を担う子供たちの「郷土を愛する心」を育てることは責務と考えます。

そこで、私たちが培ってきた知識と経験を活かし、子供たちが魅力あふれる郷土に触れ体感し、気づき考える機会を創出することで学校教育を超えた「郷土を愛する心」を育む事業を開催し将来へつなげます。また、この地域を代表するまつり「五所川原立佞武多」においてYEGと連携し親子が共に思い出を育める事業を共催します。親子で郷土の魅力に触れ、それを肌で感じることで幼少期からの「郷土を愛する心」が芽生えるきっかけとします。

この事業を通して子供たちが知り得る知識や経験は「郷土を愛する心」となり、子供たちが地域の未来を照らし、やがてこの地域を牽引する担い手の育成につながるものと確信し、一年間職責を果たせるよう邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎公開定例会（8月）公1

「郷土を愛する心を育む事業」（仮称）

郷土に触れて体感し、郷土について考えることで「郷土を愛する心」を育む青少年育成事業

・旅費交通費	150,000円	・通信運搬費	10,000円
・消耗品費	100,000円	・印刷製本費	20,000円
・賃借料	35,000円	・委託費	200,000円
・保険料	20,000円	・諸謝費	30,000円
・衛生料	35,000円	・雑費	100,000円

予算 700,000円

※その他の事業

◎「親子で立佞武多に参加する事業」（仮称）（8月）

YEG主幹の「親子で立佞武多に参加する事業」の実行委員会へ役員として参画

事業費合計 700,000円

会員拡大交流委員会

室長 對馬 央 也

基本方針

青年会議所は20歳から40歳までの多様な職種の青年により構成され、柔軟な発想と気概を持って仲間と共に研鑽を積みながらこの地域でJ C運動を展開して参りました。40歳までという限られた時間の中で事業活動を通して友情を育み、それは卒業後の地域とのつながりへと結びつき「明るい豊かな社会」の実現の一端を担っています。私たちはこれからも多くの仲間を迎え入れ、共に事業活動を通して交流を深めることで友情を育み、この地域の発展につなげていかなければなりません。

その為にも、まずは入会候補者の情報収集に努めると共に全会員による拡大運動を促進し、会員拡大につなげます。そして、入会者が委員会で交流し結ばれた友情を全会員で更に深める事業を開催することで、全会員の仲間意識が織り成すJ C運動へとつなげます。また、当会OBであるシニアクラブの先輩方と交流を図り、本年の事業へのご理解・ご協力を賜ると共に青年会議所で培った知識・経験・友情の大切さを学びます。更には、会員の家族へ向けたJ C運動へのご理解を賜る場を創出します。

多くの仲間と事業活動を共にし、友情を広げることで会員同士の結びつきが地域の力となり「明るい豊かな社会」の実現へとつながります。そして、拡大と交流の両輪が当会の持続的な成長を促すことで多年に渡るJ C運動が展開されることと確信し、一年間職責を果たせるよう邁進して参ります。

担当理事 高橋 溪 太

基本方針

青年会議所は20歳から40歳までの地域を担っていく青年により構成され、魅力溢れる事業を通してこの地域でJ C運動を展開して参りました。今後も「明るい豊かな社会」の実現へ向け、力強いJ C運動を展開する為に会員拡大・会員交流事業が最重要であると考えます。40歳までという限られた時間の中で、私たちはこれからも多くの仲間を迎え入れ、共に事業活動を通して交流を深めることで友情を育み、この地域の発展につなげていかなければなりません。

その為にも、一年を通し入会候補者の情報収集に努め、全会員による拡大運動に励むと共に「会員拡大に関する事業」及び「会員交流事業」を開催し、全会員の仲間意識が織り成すJ C運動へとつなげます。また、「OB交流会」を開催し、本年の事業へのご理解・ご協力を賜ると共に青年会議所で培った知識・経験・友情の大切さを学びます。更には、「会員家族と親睦を深める事業」を開催し、会員の家族へ向けたJ C運動へのご理解を賜る場を創出します。

会員一人一人が「会員拡大」「会員交流」事業を深く理解し存分に楽しむ事により、会員拡大、J C運動を進める目的意識が向上し、さらには力強いJ C運動が地域の力となり「明るい豊かな社会」の実現へとつながると確信し、一年間邁進して参ります。

事業計画並びに事業予算

※例会の主管

◎定例会（4月）他2

「異業種交流会」

会員拡大に関する事業

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	12,000円
・印刷製本費	5,000円	・賃借料	33,000円
・委託費	10,000円		

予算 70,000円

※その他の事業

◎「OB交流会」（5月）他1

OBから運動と友情の大切さを学ぶ事業

・通信運搬費	10,000円	・消耗品費	22,000円
・印刷製本費	5,000円	・賃借料	33,000円
・委託費	10,000円		

予算 80,000円

◎「家族交流会」（12月）他1

会員家族と親睦を深める事業

・消耗品費	10,000円	・印刷製本費	5,000円
・委託費	20,000円	・雑費	65,000円

予算 100,000円

◎「会員交流」（不定期）他1

会員の友情を深める事業

・通信運搬費	50,000円	・消耗品費	50,000円
・賃借料	50,000円	・保険料	50,000円
・委託費	50,000円		

予算 250,000円

◎「会員拡大」（通年）他2

会員拡大に関する情報収集及び会員への拡大運動を促進する事業

・通信運搬費	30,000円	・印刷製本費	20,000円
--------	---------	--------	---------

予算 50,000円

事業費合計 550,000円

年間事業スケジュール(事業)

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
日本青年会議所	京都会議 京都 21日(木)～24日(日) 総会 京都 23日(土)		総会 東京 27日(土)			
東北地区協議会	正副拡大会議 WEB 13日(木) 役員会議 WEB 20日(木) 会員会議所会議 京都 22日(金)	正副拡大会議 WEB 3日(木) 役員会議 WEB 17日(木)	正副拡大会議 WEB 3日(木) 役員会議 WEB 17日(木)	正副拡大会議 WEB 2日(金) 役員会議 WEB 14日(木)	正副拡大会議 WEB 6日(木) 役員会議 WEB 19日(木)	正副拡大会議 WEB 2日(木) 役員会議 WEB 16日(木)
青森ブロック協議会	役員会議 青森 12日(火) 会員会議所会議 五所川原 30日(土) アカデミー大学 開校式・特別講座 五所川原 30日(土) 事業説明会・新春 名刺交歓会 五所川原 30日(土)	役員会議 WEB 9日(火) 会員会議所会議 十和田 27日(土)	役員会議 WEB 9日(火) 会員会議所会議 三沢 20日(土)	役員会議 青森 6日(火) 会員会議所会議 弘前 24日(土)	役員会議 青森 6日(木) 会員会議所会議 むつ 22日(土)	役員会議 青森 1日(火) 会員会議所会議 八戸 12日(土)
五所川原青年会議所	新年祝賀会 17日(日)	通常総会	定例会	定例会	公開定例会	奥津軽虫と火まつり
理事会	7日(木)	5日(金)	5日(金)	5日(月)	6日(木)	7日(月)
総務合同委員会	新年祝賀会	通常総会	定例会主管			
青少年委員会						
まつり委員会						奥津軽虫と火まつり
地域委員会					定例会主管	
会員拡大交流委員会				定例会主管	OB交流会	

	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
日本青年会議所	国際アカデミー サマーコンファレンス 横浜 17日(土)～18日(日)			全国大会 とちぎ宇都宮 7日(木)～10日(日) 総会 宇都宮 8日(金)	JCI世界会議 16日(火)～20日(土)	
東北地区協議会	正副拡大会議 WEB 7日(木) 役員会議 WEB 21日(木)	正副拡大会議 WEB 4日(木) 役員会議 WEB 26日(木)	正副拡大会議 WEB 8日(木) 役員会議 WEB 22日(木) 東北青年フォーラム 郡山 4日(土)～5日(日)	正副拡大会議 WEB 6日(木) 役員会議 WEB 21日(木)	正副拡大会議 WEB 5日(金) 役員会議 WEB 12日(金) 会員会議所会議 青森 13日(土)	
青森ブロック協議会	役員会議 WEB 1日(木) 会員会議所会議 青森 10日(土) アオモリ サマーサミット 青森 10日(土)～11日(日)	役員会議 WEB 24日(火)	会員会議所会議 WEB 11日(土)	役員会議 青森 4日(月) 会員会議所会議 黒石 23日(土)	役員会議 WEB 11日(木)	会員会議所会議 五所川原 4日(土) アカデミー大学 開校式 五所川原 4日(土) ブロック卒業式 五所川原 4日(土)
五所川原青年会議所	選考委員会選挙	公開定例会	通常総会	公開定例会	公開定例会	定例会
理事会	5日(月)	5日(木)	6日(月)	5日(火)	5日(金)	6日(月)
総務合同委員会	選考委員会選挙		通常総会			次年度説明会・ LOM内褒賞
青少年委員会		定例会主管・ 親子de立佞武多				
まつり委員会					定例会主管	
地域委員会				市民討議会		
会員拡大交流委員会	会員交流事業					家族交流会